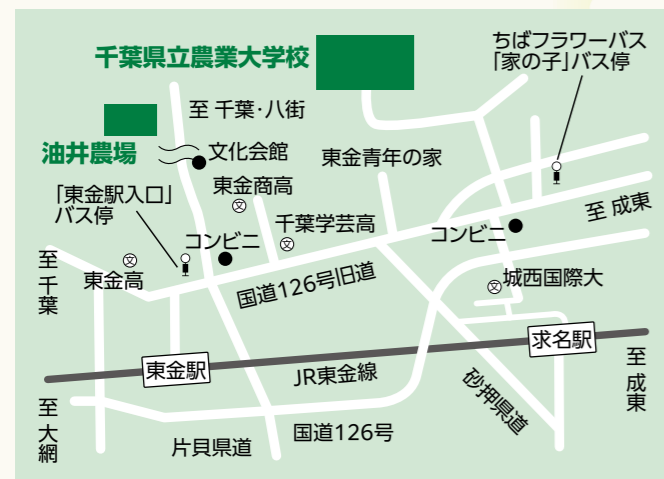


農業研修科

将来、県内で農業に取り組もうとしている方が、土曜日を利用して農作業を体験し、基礎的な農業知識を習得する「就農準備講座」、県内で新たに就農しようとする方が、平日に専門的な講義と実習を受講する「農業者養成研修(3・6・12か月)」など、実践的な研修を開催します。



農学科・研究科・農業研修科(東金市)

交通(本校)

- ①JR東金線求名駅下車、徒歩約30分
- ②JR東金線東金駅下車、「東金駅入口」から、ちばフラワーバス「成東駅」行きに乗り、「家の子」で下車、徒歩約10分
- ③JR総武本線成東駅下車、ちばフラワーバス「千葉駅」行きに乗り、「家の子」で下車、徒歩約10分
- ④JR千葉駅下車、ちばフラワーバス特急フラワーライナー「成東」行きに乗り、「家の子」で下車、徒歩約10分

交通(農業研修科油井農場)

JR千葉駅発、平日のみ運行の高速バス(レイクサイドライナー)にて「高等技術専門学校」下車、徒歩約15分
 ※休日は、ちばフラワーバスで「丘山小学校」下車徒歩約30分

千葉県立農業大学校

- ◆農学科 ◆研究科
- ◆農業研修科



機械化研修科

農業者や新規就農希望者等を対象に、農業機械の安全操作・保守点検に関する各種研修を開催します。また、大型特殊自動車運転免許(農耕車限定)、けん引運転免許(同)の取得に向けた研修を開催します。



機械化研修科(千葉市緑区)

交通(機械化研修科)

JR外房線鎌取駅下車、南口からバス(小湊バス、千葉中央バス)「ちはら台駅」「ちはら台東」行きに乗り、「農業センター入口」で下車、徒歩約20分

COLLEGE GUIDE

2024

令和7年度
入学生募集

めざせ! プロフェッショナル



千葉県立農業大学校

本校

〒283-0001 千葉県東金市家之子1059

TEL 0475-52-5121(庶務教務課)
 0475-52-5122(農学科)
 0475-52-8565(研究科)
 0475-52-5140(農業研修科)

FAX 0475-54-0630(各科共通)

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>
 E-mail noudai01@mz.pref.chiba.lg.jp(受信専用)
 X(旧Twitter) https://twitter.com/chiba_nodai
 facebook <https://www.facebook.com/2026296467629790/>
 アカウント名 千葉県立農業大学校



ホームページ



X(旧Twitter)



facebook

学校見学を随時受け付けています。
 事前にお申し込みください。



千葉県立農業大学校

CHIBA PREFECTURAL AGRICULTURAL COLLEGE



校訓

「志農創造」

農業を志した以上は、常に高い理想のもとに国際化、技術革新・情報化など、時代の要求を的確にとらえ、旺盛な向学心を持って新しい農業を創造し、その使命に応える農業人とならなければならない。

教育理念

本校は、千葉県農業の発展に寄与する優れた担い手及び指導者の育成を教育目標に掲げ、次の四つを教育理念としています。

- 広い視野を持つ豊かな人間性の形成
- 高度な専門的知識・技術・経営管理能力の習得
- 地域社会における指導者としての資質の養成
- 土に根ざした実践力のかん養



沿革

本校の前身である千葉県農業大学校は、農業短期大学校と農業経営短期大学校を統合し、昭和54年に本県唯一の農業者研修教育施設として、東金市に開校しました。その後、平成24年に専修学校「千葉県立農業大学校」となりました。これまでに3,279名の卒業生を社会に送り出しています。

施設の概要

本校は、本館、体育館、学生寮等の施設、学習に必要な設備、実習農場等を備えています。

● 本校施設(東金市家之子)

建物・施設 7ha
実習農場等 8ha

● 農業研修施設(東金市油井)

実習農場等 4ha

● 農業機械化研修施設(千葉市緑区)

運転技能研修コース 4ha



千葉県立農業大学校の魅力

温暖な気候と豊かな大地に恵まれた千葉県は全国有数の農業県であり、当校の多くの卒業生が県内の農業分野で活躍しています。

このような恵まれた環境の中で、実践的な農業を学ぶことができます。

充実したカリキュラム

● 幅広く学べるカリキュラム構成

農産物の生産、家畜の飼育をはじめマーケティング、スマート農業、食品加工等

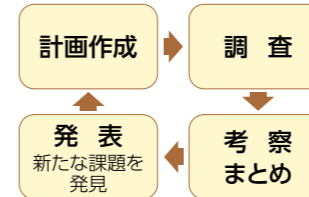
● 進路決定をサポート

一人ひとりの進路を実現するために年間を通じてキャリアサポートを実施

- ◆ キャリア基礎講座(農学科)
- ◆ キャリアサポート実習(農学科)
- ◆ 職業紹介業務に基づく進路指導(農学科、研究科)

● 課題解決型学習の取組

自ら課題を設定し、栽培等計画を作成。課題に基づく調査・研究を行い、課題解決能力を養う課題解決型学習を実施



実践農業の体験学習

● 先進農家等への派遣実習(農学科)

優れた先進農家等で、一定期間仕事や生活を共にし、農業の現実や優れた栽培技術を学ぶ農業派遣実習

● インターンシップ研修(研究科)

農業関連企業・機関等で職業体験を行い、職業観の醸成、経営や販売戦略、消費者重視の生産・流通、地域づくりなどを実践的に学ぶインターンシップ研修

少ない経費負担

快適な学習環境



多彩な11の専攻教室(農学科、研究科)

- ◆ 作物 ◆ 施設野菜 ◆ 露地野菜 ◆ 果樹園芸
- ◆ 花き園芸 ◆ 畜産 ◆ 情報経営 ◆ 食品加工
- ◆ 生物工学 ◆ 土壌肥料 ◆ 病害虫

ビジネス感覚を養う農業経営の学習

● 専攻実習で直売を実践(農学科)

● 経営感覚を学ぶ「模擬会社」(研究科)

- ◆ 農業経営実習の授業で模擬会社を運営
- ◆ 本校で生産した農畜産物や加工品の販売、観光農園の運営



専修学校のメリット

- ◆ 専門士(農業専門課程)の称号を付与
- ◆ 4年制大学編入学が可能
- ◆ 日本学生支援機構等の奨学金制度が利用可能
- ◆ 就農・就職に対する充実した支援

多様な免許・資格の取得

- ◆ 大型特殊自動車(農耕車限定) ◆ 農業機械士
 - ◆ 小型車両系建設機械 ◆ フォークリフト ◆ 家畜商
 - ◆ 日本農業技術検定 ◆ 日商簿記
 - ◆ 毒物劇物取扱者 ◆ 食品衛生責任者 ほか
- ※取得に別途経費が必要な免許・資格が含まれます。

寮生活による仲間づくり

- ◆ 農学科1年生全員による寮生活



TOPICS

スマート農業施設・機器を活用した実習

●環境制御ハウス

高さ5.3メートルのハウスで、養液栽培システムが導入されています。この施設では、窓やカーテン、暖房、炭酸ガスの発生機等を自動で制御することができます。現在、学生の研究用にトマトやパプリカを栽培しており、スマートフォン等でハウス環境を整え、植物の生育状況とデータに基づいた管理を行うなど、研究に有効活用しています。



●牛行動モニタリングシステム

牛の首や尾などに装着したセンサーによって、牛の採食や反芻^{はんすう}など様々な行動をモニタリングし、その蓄積データを解析することで、通常、日々の観察で発見している発情や疾病、分娩兆候を検知することが可能となります。解析結果はスマートフォン等にリアルタイムで通知され、学生は観察と照らし合わせながらシステムを使用しています。また蓄積データを卒業論文に利用しています。



●食味・収量センサ付きコンバイン

水稲や小麦を収穫しながら、ほ場ごとの水分とタンパク質含量、収量をリアルタイムで測定することができます。ほ場ごとの品質と収量を把握することで、次作の施肥量や作付計画に反映することができます。



●スマート農業の授業

スマート農業関連機械実演会では、ドローン、自動運転トラクター、ラジコン草刈り機等の最新のスマート農業機械類の操作体験等を行います。

また、新農業技術論の授業では、スマート農業の導入事例などを学ぶことができます。



6次産業化の技術を習得

●食品加工実習

農学科の食品加工実習では、農産物の生産だけでなく、加工(2次産業)、販売(3次産業)まで取り組む6次産業化について知識を習得します。農産物の加工技術の基礎や原理について学び、農産物を利活用した食品加工技術を身に付けています。

●加工・商品開発演習

研究科の加工・商品開発演習では、テーマとする農産物を取り上げ、商品化に向けて農産物マーケティングを学びながら、年間を通じて加工演習に取り組んでいます。1年間の総まとめとして、協力をいただいた生産者をお招きし、商品成果報告会を行います。



GLOBALG.A.P.の取得推進

農業経営に必須である「労働安全」や「食品安全」、「環境保全」等のGAP(農業生産工程管理)の取組を実践するため、GLOBALG.A.P.認証取得を進めています。

令和5年7月には果樹園芸専攻教室でブルーベリーの公開審査を受検し、9月に認証を取得しました。取組では、学生と教職員が一丸となり農薬散布や機械利用など全ての作業について、具体的に使用道具をあげながら危険箇所の評価を行うと共に、安全性が担保できる管理手順書の作成などを行いました。

今後も、幅広い品目でGAPの実践を進め、GLOBALG.A.P.認証の取得を目指していきます。



公開審査の様子



認定書が到着!

教育の特色と内容

農学科

- 修業年限…2年 ●定員…各学年80名、計160名
- 入学資格…高等学校卒業程度

特色

- 広い視野を養うための**教養科目**と**専門性の高い科目**が両立しており、授業の5割は実習や実験などとなっています。
- 先進農家等への派遣**を通じて、実践農業の体験学習ができます。
- 1年次後半から専攻教室に所属**し、自ら設定した課題で卒業研究を行います。
- 寮生活(1年次は全寮制)**を通じて、自主性や協調性を養います。

必要 単位数	教養科目	専門教育科目				専攻 科目
		共通必修 科目	専門選択科目			
			共通選択	植物系	動物系	
20単位以上	49単位	12単位以上	植物系又は動物系のどちらかを12単位以上		19単位	
科目	文学 哲学 法学 経済学 化学 生物学 保健・体育実技 英語会話 等	農業派遣実習 国際農業実習 食品加工実習 キャリアサポート実習 生物化学実習 農業生産工程管理論 作物・園芸学概論 等	農業経営学 農業法律学 農業気象学 農業環境概論 園芸療法論 等	野菜園芸学 植物育種学 病理・昆虫学 土壌・肥料学 作物学 等	家畜育種学 家畜繁殖学 家畜生理学 酪農・肉牛 養豚 等	専攻実習 卒業論文

研究科

- 修業年限…2年 ●定員…各学年20名、計40名
- 入学資格…本校農学科、短期大学卒業程度もしくは同等以上

特色

- 「**模擬会社**」の運営を通じて**生産から販売の過程を総合的に学習**でき、優れた経営感覚を身に付けられます。
- 授業では座学が3割、実習と演習が7割を占め、**実践的な技術や問題解決能力**を高められます。
- 進路・志望に応じたインターンシップ研修等のキャリア教育が充実**しています。

必要 単位数	教養科目	専門教育科目				専攻 科目
		必修科目		選択科目		
4単位		59単位		16単位以上		26単位
科目	実用英語 I、II	農業経営実習 I、II 加工・商品開発演習 I、II インターンシップ研修 キャリア形成講座 販売実践講座	アグリビジネス論 フードシステム論 法人経営論 食品安全とリスク管理論 起業論 等	農業機械学 生物資源利用論 園芸施設論 花き装飾論 生物工学	農政時事 家畜衛生学 家畜解剖学 大家畜論 中小家畜論 等	専攻実習 研究成果 (課題研究)

進路の状況

農学科

昭和56年3月から令和6年3月まで、44回2,730名の卒業生を社会に送り出しています。また、専修学校化後に624名が専門士の称号を付与されました。

最近3か年の進路は、就農33%、JA等の農業関係団体4%、農業関連企業他25%、進学29%となっています。就農者は県内各地で地域農業のリーダーとして活躍し、進学者は主に本校研究科で学んでいます。

単位:人、(%)

卒業 年度	就農	就職			進学		研修	その他	合計
		公務員	農業関係団体	農業関連企業他	研究科	大学編入等			
R3	14	1	6	12	16	1	0	2	52
R4	15	3	0	20	13	2	1	1	55
R5	21	1	0	6	11	1	0	4	44
合計	50 (33)	5 (3)	6 (4)	38 (25)	40 (26)	4 (3)	1 (1)	7 (5)	151 (100)

※就農者には、農業法人等への雇用就農者を含みます。令和5年度は令和6年3月1日現在の状況です。

●主な就職先(R5)

(株)エバタケ、(有)かまや、(株)グラフトワークス、(有)ジェリービーンズ、(株)高梨農園、(有)高秀牧場、東秀農育(株)、(有)北総ベジタブル、(有)秀花園、(株)見晴し園、(株)トセキ関東甲信越、(株)ユニバーサル園芸社、(株)大堀電気造園、(株)平山、千葉県(畜産技術員) ほか

●主な進学先 本校研究科、専門学校

研究科

昭和60年3月から令和6年3月まで、40回549名の卒業生を社会に送り出しています。また、専修学校化後に143名が専門士の称号を付与されました。

最近3か年の進路は、就農24%、公務員29%、農業関係団体9%、農業関連企業他31%となっています。多くが農業関連の指導者として活躍しています。

単位:人、(%)

卒業 年度	就農	就職			その他	合計
		公務員	農業関係団体	農業関連企業他		
R3	3	3	2	6	1	15
R4	3	6	1	3	0	13
R5	5	4	1	5	2	17
合計	11 (24)	13 (29)	4 (9)	14 (31)	3 (7)	45 (100)

※就農者には、農業法人への雇用就農者を含みます。令和5年度は令和6年3月1日現在の状況です。

●主な就職先(R5)

イオンアグリ創造(株)、Jリーフ(株)、(株)ノベルズ、(株)アグリ総研、(株)関東甲信クボタ、ベルグアース(株)、(株)マイファーム、(株)サンアイク、(公財)日本植物調節剤研究協会、自衛隊、千葉県(上級農業、農業技術員)

在学生の声



和田 瑞生

農学科2年 花き園芸専攻
(千葉県立安房拓心高校 出身)

私は農家の出身で、以前から農業を仕事にしたいと考えていました。そのため農業系の高校を卒業後、より実践的に学んでいくことができる本校の農学科に進学しました。

現在は花き園芸専攻教室で花の栽培について学びながら、切り花の日持ち性向上に向けた鮮度保持技術の新しい処理方法を模索しています。

卒業後は就農し、本校での経験をもとにして、花き産業の発展に繋げられるような経営を展開していきたいと考えています。



大竹 菜ツ美

研究科1年 施設野菜専攻
(千葉県立成田西陵高校 出身)

私は非農家出身ですが、高校の食品科学科で六次産業を学ぶ実習を通して農業に興味を湧き、農業についてもっと学びたい気持ちから本校へ進学しました。

現在は施設野菜専攻教室に所属し、リーフレタスなど様々な野菜の育て方やハウスの管理などを学んでいます。また、本校で学ぶうちに農家さんの大変さを知り、農家さんを支えられる普及指導員になる目標を見つけました。

今後も知識や技術をさらに増やし、将来に役立てていきたいです。



本田 和也

研究科2年 果樹園芸専攻
(都立忍岡高校 出身)

私の実家は農家ではなく、普通科高校の出身ですが、高校の時の部活動での梅の収穫や、プランターで野菜などを育てていたのがきっかけで農業をやってみようと思いい、入学後に専攻教室を選ぶことのできる本校へ入学しました。

現在は果樹園芸専攻教室に所属し、スマート農業機械による作業の省力化について取り組んでいます。

卒業後は学校で学んだ知識や経験を生かし、果樹園に就職か普及指導員になりたいと考えています。

入学者の推移 【農学科】

年度	計	男女別		高校別				農家・農家以外		地域別	
		男性	女性	農業高校	普通高校他	農家	農家以外	県内	県外		
R元	56	45	11	30	26	19	37	44	12		
R2	57	44	13	30	27	14	43	49	8		
R3	55	45	10	32	23	18	37	41	14		
R4	44	33	11	25	19	12	32	32	12		
R5	53	41	12	30	23	11	42	47	6		

名・(%)

入学者の推移 【研究科】

年度	計	男女別		農家・農家以外		地域別	
		男性	女性	農家	農家以外	県内	県外
R元	9	8	1	2	7	6	3
R2	16	15	1	5	11	11	5
R3	15	13	2	4	11	10	5
R4	17	13	4	5	12	15	2
R5	13	13	0	5	8	11	2

名・(%)

専攻教室の紹介

専攻教室は、本校での集大成である「卒業論文」を作成する場であり、生涯の恩師や友人と出会う場でもあります。また、専攻実習等の共同作業を通じてチームワークの大切さやありがたさも実感できます。本校には、全国の農業大学校の中で最も多い11の専攻教室があります。

作物専攻教室



作物専攻教室では、様々な農業機械を活用しながら、水稻、ムギ、ソバ等の穀物やサツマイモ、ジャガイモ等のイモ類、ダイズやラッカセイ等のマメ類を栽培しています。酷暑や厳寒期は大変ですが、専攻生全員で作業し、収穫の喜びを分かち合うことができます。

専攻生は、自分が興味を持った作物について、収量向上や品質改善、省力・低コスト化等農業現場でのニーズをとらえて課題を設定し、卒業論文の研究に取り組みます。

施設野菜専攻教室

施設野菜専攻教室では、イチゴ、トマト、パプリカ、キュウリ、メロン、スイカ等の果菜類を中心に栽培しています。土耕栽培を基本に、環境制御ハウスでの養液栽培、その他、高設・隔離床栽培等を行っています。

専攻生は、自分の責任で育苗から収穫まで日々栽培管理し、施設野菜の実践的な栽培と卒業論文の調査研究を通しながら、栽培技術を身に付けるとともに、収穫する喜びと食べる喜びも体験できます。

夏のハウス内作業環境は、暑く厳しいですが、努力の結果、収穫された農産物を手にすると、今までに経験したことのないような喜びを味わえます。



露地野菜専攻教室

露地野菜専攻教室では、露地ほ場と無加温パイプハウスを活用し、キャベツ、ネギ等の葉菜類、ナス、ピーマン等の果菜類、ダイコン、ニンジン、サトイモ等の根菜類など様々な野菜を栽培しています。

品種選びから苗づくり、収穫までを実践し、露地野菜の適切な栽培管理を学ぶとともに、つくった野菜を自ら食べて評価します。また、出荷調制作業や販売を通じ、生産だけでなく、販売するための視点も養います。体験を通じた課題解決学習により、自ら考え行動できる人材を育成します。



花き園芸専攻教室

花き園芸専攻教室では、切り花や鉢花の栽培技術を学習しています。切り花栽培では、施設栽培を中心に色々な品目を組み合わせた輪作体系や、開花調節による周年生産方法について実習を行います。鉢花栽培では、特定の出荷日を目指した日長処理による開花調節や、品質向上のための植物成長調整剤の活用技術等に取り組んでいます。

また、入学式、卒業式を飾る全ての草花を栽培しており体育館を彩ります。社稷祭や直売でのシクラメンや花束の販売は、地域の方からも好評いただいています。



果樹園芸専攻教室

果樹園芸専攻教室では、ナシ、ブルーベリー等の落葉果樹を中心とした基本的な栽培管理技術の習得とともに、農業生産工程管理に取り組みGLOBALG.A.P.認証を取得しました。

また、様々な新品種や品質向上のための新技術が開発されている中、その実用性の検証や、高品質果実の安定生産のための栽培技術の習得を行います。更に、収穫物を販売することを通じ、消費者視点での栽培について考える機会を設けます。

果樹園芸専攻は果樹を通じ、生産と消費の両側面から農業を学ぶことが出来る教室です。



畜産専攻教室

畜産専攻教室では、牛、豚、山羊、鶏を飼育しています。飼料給与、除ふん作業をはじめ、牛・豚の飼料の自家配合、山羊の繁殖管理、飼料作物の栽培やサイレージ調製、鶏では集卵、洗卵等の作業を行います。

各テーマにそって、体重・体尺測定や、飼料設計、行動調査、卵の産卵調査や卵質調査等を行い、卒業論文としてまとめます。また、スマート機器の牛行動モニタリングシステムを導入し、実習や卒業論文で活用しています。家畜・家禽管理の難しさ、厳しさを知り、また動物の飼育を通じ、命の大切さと畜産業の意義を学習しています。



情報経営専攻教室



情報経営専攻教室では、生産・販売・流通・経営や地域農業の振興など「実論」についての課題研究に取り組んでいます。

経営は人・物・金・情報などの経営資源と知恵を活かし、継続的に行っていくものです。現状を分析し、計画を立てて、実行し、目的を達成していきます。失敗したら何が原因だったのか反省し、改善します。このような論理的思考を養っています。

また、研究生が運営している模擬会社と密接に連携し、生産から加工・販売など様々な視点で調査研究する専攻教室です。

生物工学専攻教室



生物工学専攻教室では、バイオテクノロジー分野の中でも、特に植物や微生物の培養技術を主軸として、学生の興味関心に加え、地域の生産者の要望や研究機関のアドバイスを取り入れ、課題に取り組んでいます。

高圧蒸気滅菌器やクリーンベンチ、恒温室等の施設設備を活用し、ウイルスフリー苗や育種素材の作出、クローン苗の効率的な増殖法の検討、微生物の機能解明等を行っています。

食品加工専攻教室

食品加工専攻教室では、地域で生産された農産物やほ場で栽培した農産物を教材として、加工特性、加工貯蔵技術を学習しています。営業許可を取得している食品加工室を用い、規格外野菜や果物に着目し、農作物の生産(1次産業)だけではなく、製造・加工(2次産業)、販売(3次産業)に取り組んでいます。農産物に新しい価値をつけ、農業所得の向上につながる、6次産業化の研究を進め、地域産業の創出を目指しています。



土壌肥料専攻教室

土壌肥料専攻教室では、環境に配慮しながら高品質な農産物を生産する持続可能な農業のための土壌管理技術を習得します。具体的には、「農業は土力(どりょく)」を合言葉に、土壌診断に必要な各種成分の分析方法や土壌改善方法、環境保全型施肥技術、土づくりのための堆肥化技術と施用法などを学んでいます。

露地ほ場とビニールハウスを有し、学生の希望にあわせた様々な作物の栽培と土壌改良資材や肥料を用いた環境にやさしく、より経済的な農業を探索しています。

和気あいあいとした実習や分析を通じて、知識の深化を図るとともに、課題解決能力を身に付けます。



病害虫専攻教室



病害虫専攻教室では、農作物に被害を及ぼす病害虫の生態や防除対策について学んでいます。

令和4年度には水稲苗を食害するジャンボタニシの捕殺トラップを開発し、減農薬栽培を進めることで、絶滅が心配されるトウキョウサンショウウオを保護することができ、収穫した米をブランド米販売につなげ、その成果で全国農業大学校等プロジェクト発表会の農林水産大臣賞を受賞しました。

また、平成30年には害虫のアブラムシを食べる「飛ばないテントウムシ(商品名:テントロール)」を商品化し、農薬を使わないことで環境にやさしい農業を支える研究が、第49回毎日農業記録賞の最優秀賞を受賞するなど、全国大会で多数の入賞経験があり、成果はいちご農家やシントウ農家の経営で役立っています。

多方面で活躍する卒業生

就 農



吉川 佑輔

令和4年度 農学科卒
(千葉県立多古高校 出身)

私は大好きな農業を学ぶため農業大学校に入学、露地野菜専攻教室に所属し、現在は親元就農しニンジン等を栽培しています。

学校生活を振り返ると、様々な野菜を自分たちで育てたこと、直売会や社稷祭で野菜を買っていただいた地域の方が喜ぶ顔がうれしく、やり甲斐を強く感じたこと、共に学ぶ仲間と楽しく過ごした毎日が甦り、入学して良かったと心から思います。

将来、経営規模を拡大するため、おいしい野菜をつくるため、日々勉強の毎日を送っています。



村越 隆一

令和4年度 研究科卒
(千葉県立国分高校 出身)

私は農業大学校卒業後に親元就農し、家業である梨農家を継ぎました。

出身高校は普通科ですが、幼い時から農業に触れ家業を継ぐことを決めていたため、父親の母校でもある農業大学校に進学しました。

在学中は果樹園芸専攻に所属し、4年間を通して梨の研究に取り組みました。

農業大学校では、講義や実習を通して農業に関する知識や技術を学び、とても充実した学校生活を送ることが出来ました。



三須 翔太

令和4年度 研究科卒
(千葉県立佐倉東高校 出身)

我が家は鎌倉時代から続く八街市の専業農家で、14代目として親元就農しました。ニンジン、ダイコンなど有機栽培を中心に生産しています。農業大学校では、我が家で問題となっていたヒョウタンゾウムシの防除に関する研究に取り組み、全国農業大学校等プロジェクト発表会で優良賞、第49回毎日農業記録賞では最優秀賞を受賞するなど、多くの賞をいただくことができ、学びを深めることができました。

農業の知識や技術だけではなく、かけがえのない友人や恩師と出逢えたことは私の財産になっています。



真田 大陸

令和4年度 農学科卒
(私立千葉県安房西高校 出身)

私は平林物産株式会社に就職し、現在は主にパイプハウスを中心に各種農業資材や種苗販売等の業務を行っています。最初は、資材の名前や専門用語に戸惑うこともありましたが、経験を積みながら業務に励んでいます。

農業大学校では、花き園芸専攻に所属し、千日紅やトルコキキョウなど様々な花を栽培し、社稷祭や直売で生産したものを販売する中で、楽しさや農業に役立つ知識と技術を学びました。在学中は同じ目標を持つ友人に出会うことができ、2年間に有意義に過ごすことができました。



鈴木 秀平

令和4年度 農学科卒
(私立千葉黎明高校 出身)

私は卒業後、株式会社関東甲信クボタに就職し、サービスエンジニアとして、農業機械の修理及び整備、点検を担当しております。

在学時は施設野菜専攻に所属し、イチゴの栽培を行い、様々な農業の知識、技術、経験を学び、農作物の生産における大変さや楽しさを知ることが出来ました。また、専門的な知識を持った先生方の指導や、同じ志を持つ仲間と出会えることが出来たため、農業大学校に入学して本当に良かったと思っています。



久手堅 憲介

令和4年度 研究科卒
(私立N高校 出身)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構で事務職として勤務しています。

在学中は土壌細菌について研究を行うと共に、通信制大学にて経営学を併修していました。また、研究科では、学生が経営する模擬会社にて財務について実践的に学ぶことができました。そのため、農業関連分野であり、経理業務が主である現在の仕事に在学中の経験が役立っていると実感しています。農業大学校は県内外から農家・非農家関係なく多様な出身の学生が在籍しているため、様々な交流ができ、今でもその繋がりは一生ものとなっています。



長澤 光輝

令和4年度 研究科卒
(千葉県立薬園台高校 出身)

農業委員会の県組織である千葉県農業会議で、農業者年金の加入推進や法人化支援を担当しております。

出身は浦安市であり、千葉県で唯一農地が無く、農業委員会が設置されていない街で育ちました。そんな私でも働けているのは、学生生活で築いた友人達や先生方との繋がりのおかげです。この関係性は、農業の世界にいる限り、必ず続きます。そこが農業の魅力であり、私が好きなところでもあります。いつか、また友人達と巡り合い、手助けできる日を楽しみにしています。

公 務 員



春日 朋美

令和4年度 農学科卒
(私立千葉萌陽高校 出身)

私は農学科を卒業後、芳源マッシュルーム株式会社に就職しました。業務内容は主にマッシュルームの収穫作業で毎日頑張っています。

私は普通科の出身で、農業の知識がなく不安だらけでしたが、寮生活を通して共に苦勞を乗り越え支え合う仲間ができました。また、専攻教室では、皆で協力して作業することの楽しさや収穫した時の達成感など、とても貴重な経験を積むことができました。



久我 美穂

令和4年度 農学科卒
(千葉県立茂原樟陽高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、株式会社加茂牧場に就職しました。現在は哺乳や搾乳、エサ作りから給与まで乳牛の管理に携わっています。

農業大学校では畜産専攻に所属し酪農の基礎知識、繁殖、生き物を扱う楽しさや大変さを学ぶことができました。またトラクターの運転技術等も学べ、就職してから役立ることができました。

牧場の先輩方の背中を見て、今後はもっと自分が成長できるよう精進していきます。



田口 愛乃果

令和4年度 農学科卒
(都立農産高校 出身)

千葉県立農業大学校に勤務し、農業技術員として花き園芸専攻教室で、主に鉢花等の栽培管理、実習指導の補助をしています。

在学中は情報経営専攻教室に所属し、収穫体験と市場販売の研究に取り組みました。農業の知識や技術を学ぶ他、先生や同級生、先輩後輩、地域の方々にも支えられて2年間に過ごしました。学びを得た学校の職員となり、日々勉強しながら仕事に励んでいます。学生にとって身近で親しみやすい職員を目指し、様々な面で役立てるように今後も頑張ります。



加藤 日和

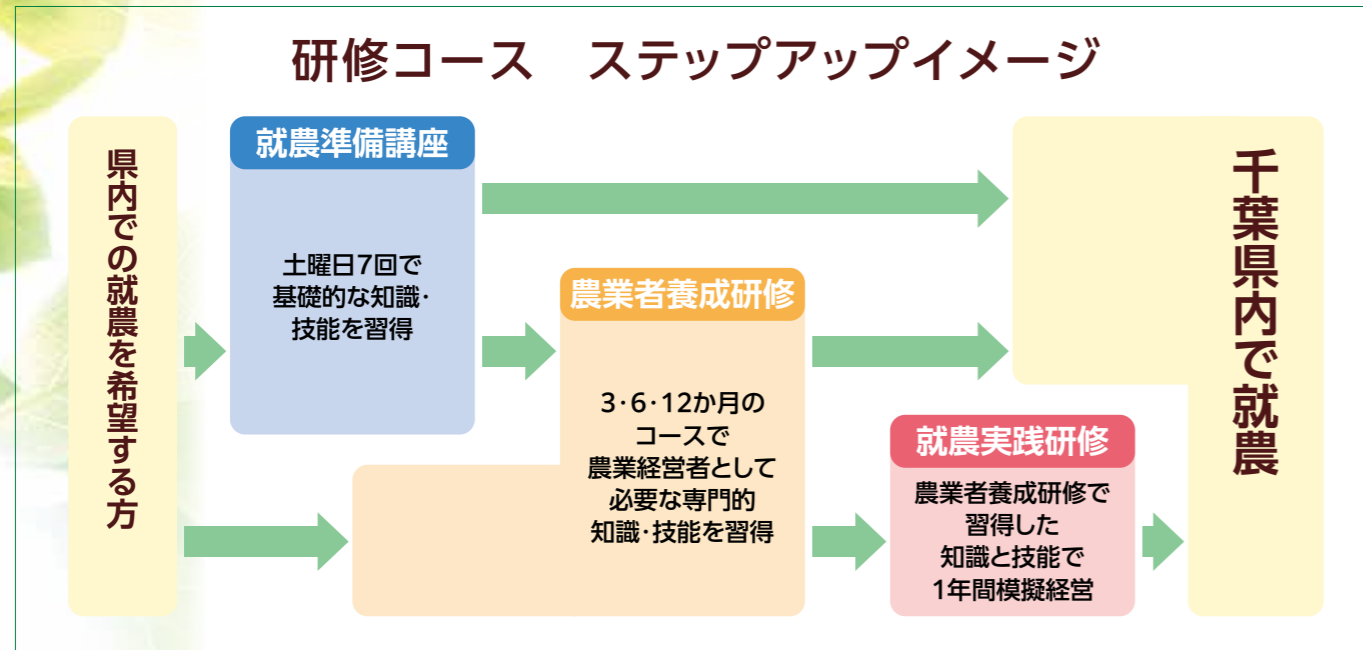
令和4年度 研究科卒
(神奈川県立中央農業高校 出身)

千葉県庁東葛飾農業事務所に勤務し、普及技術員として主に梨を生産する農家の担当をしています。普及員の仕事は求められるスキルが多く、難しいと感じることもありますが、千葉県農業発展のために尽力したいと思います。

農業大学校では果樹園芸専攻教室に所属し、ブルーベリーに関する研究をしていました。在学中には講義や実習を通じ農業の経験や知識を積みただけでなく、寮生活での様々な人との生活の中で貴重な体験ができました。

農業研修科

県内で新規に農業を始めたい方、農業を開始し技術を高めたい方を対象とした研修を実施しています。



研修内容

●就農準備講座

基礎的な農業知識の習得と農作業を体験し、午前は講義、午後は野菜・花き栽培関連の農場実習を行います。

また、新規就農の事例を視察します。

将来、県内で職業として農業に取り組もうとしている方が対象です。

●農業者養成研修

農業経営者に必要な専門知識・技能を、講義、農場・農家実習や校外学習などで習得します。

研修期間が3か月の基礎研修、6か月の専門研修、12か月の部門別研修の3コースがあり、県内で職業として農業を始めようとする方や、県内で既に農業を開始している方が対象です。

●就農実践研修

1年間の研修コースで、これまで習得した知識や技術を用いて農作物の栽培・販売を行い、就農に必要な栽培技術習得や農業経営の経験を積むための研修です。

農業者養成研修を修了した方が対象です。



【問合せ先】

千葉県立農業大学校 農業研修科

〒283-0001 千葉県東金市家之子1059(油井農場ではありません)
TEL 0475-52-5140 FAX 0475-54-0630

機械化研修科

農業者や新規就農希望者等を対象に、農業機械の安全かつ適正な操作・点検整備ができる農業機械利用技能者を養成します。

農業大学の学生向けには、農学科1年生の夏季や冬季に農業機械実習として、トラクター基本操作の研修を実施します。

研修内容

●農業機械体験研修

農作業安全に関する知識、農業機械の基礎、乗用型トラクター・歩行型トラクター・草刈り機の基本的な操作技術を習得します。

研修対象者は、新規就農者・定年帰農者等の就農予定者です。

●トラクター基本研修

トラクターの安全運転操作方法を習得します。

研修の対象者は、県内に住所を有し、トラクター作業経験のある農業従事者及び従事しようとする方で、普通自動車免許等を有する方です。



●農業機械基本研修

農業機械の安全かつ適正な取扱い及びドローンなど最新の農業機械についての知識・技能を習得します。

研修対象者は、農業大学校学生です。

●農業機械士養成研修・農業機械士育成研修

農業機械の安全かつ効率的な利用のため、農業機械の構造・機能や作業の安全知識、農業機械の運転操作と作業機の装着・日常保守点検の技能を習得します。

最終日は、機械化研修科内で技能検定を受検し、合格すると農業機械士の資格が取得できます。

研修対象者は、普通自動車運転免許等を有する方です。

●けん引技術研修

トラクターによるけん引車両の安全運転操作方法を習得します。

研修の対象者は、県内に住所を有する方で、大特免許(農耕車限定含む)を有し、ほ場内でトレーラ等のけん引経験のある方です。

●農業用ドローン操作研修会

農作物の農業防除等で使用する農業用ドローンの操作方法と飛行に関する航空法等の必要な知識を学ぶことができます。

●農業後継者育成農業機械研修など

【問合せ先】

千葉県立農業大学校 機械化研修科

〒266-0006 千葉市緑区大膳野町1055
TEL 043-291-1254 FAX 043-292-3859

キャンパスライフ

学 校 行 事

- 4月**
 - 入学式
 - ガイダンス
 - 前期授業開始
 - 校内スポーツ大会
- 5月**
 - 創立記念日
 - オープンキャンパス
- 6月**
 - 一日体験入学
- 7月**
 - オープンキャンパス
- 8月**
 - 前期試験
 - 農業派遣実習(農学科1年生)
 - 農業機械実習(農学科1年生)
 - インターンシップ研修
 - オープンキャンパス
 - 一日体験入学
- 9月**
 - ガイダンス
 - 後期授業開始
 - 専攻教室決定(農学科1年生)

- 10月**
 - 推薦入試
- 11月**
 - 社稷祭(学園祭)
- 12月**
 - 卒業論文発表会(農学科2年生)
 - 研究成果発表会(研究科2年生)
 - 国際農業実習(農学科1年生)
- 1月**
 - 冬季休業
 - 後期試験
 - 一般入試(A日程)
 - 関東ブロック農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
- 2月**
 - 一般入試(B日程)
 - 農業派遣実習(農学科1年生)
 - 農業機械実習(農学科1年生)
 - 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
 - 卒業論文、研究成果提出
 - オープンキャンパス
- 3月**
 - 卒業式
 - 春季休業



入学式



社稷祭



卒業論文発表会



国際農業実習

農 大 生 の 1 日



食堂で昼食



直売(第4限目の一部)

農業大学校なんでも Q & A

Q 千葉県立農業大学校をもっと知りたい!どうすればよいですか?

A 5~8月を中心に「オープンキャンパス」「一日体験入学」があります。オープンキャンパスでは学校見学、一日体験入学では専攻教室での実習体験ができます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。また、平日見学会を毎週月・水・金曜日、日曜見学会を毎月第2・第4日曜日に開催しています。随時受付していますので、お気軽にお申し込みください。 申込先 TEL 0475-52-5121(庶務教務課)

Q 今まで農業をしたことがありません。授業についていけますか?

A 基礎から農業について学びます。普通高校出身者も多く在籍しています。例年、入学者の約7割が農家以外で、また約4割は農業関係高校以外の出身です。農業初心者でも安心して学べます。農業に興味・関心がある方、将来農業関連の仕事に就きたい方の入学をお待ちしています。

Q 入学時や在学中にかかる経費を教えてください。 農学科1年次の経費(令和6年度計画)

A 入学金、授業料等は右のとおりです。なお、在学中に下記の支援も受けることができます。
●日本学生支援機構等の奨学金を利用できます。
●就農(雇用就農を含む)予定者は 就農準備資金(条件有)を申請できます。

項目	年額(円)
入学金	5,650
授業料	118,800
寮費、寮光熱水費	61,200
諸経費(寮食費、自治会費等)	約380,000
保険、書籍、国際農業実習等	約250,000
合計	約816,000

※農学科2年次は、国際農業実習がないため、合計から約20万円減額となります。

Q 全員、寮に入らないといけないの?

A 農学科1年生は全寮制です。2年生以降は、希望入寮(条件有)となります。



寮の部屋

Q 寮生活について教えてください。

A 原則3人部屋、7:10起床、門限21:50です。授業のある平日の朝・昼・夕は食堂で食事が出ます。(昼食は通学生も利用できます) 入浴は18:30~21:50に可能です。無線LANも完備しています。上記の時間以外には、アルバイトや部活、自分の趣味の時間もとれます。



食事の例(昼食)

Q 初めての寮生活が不安ですが…。

A 安心してください。先輩や友達との良好な関係が築ける場所になります。入学生の大半が、入寮に対する不安を持っています。しかし、1年生全員が入寮するのでスタートラインは同じなため、すぐに人間関係を作るメリットがあります。また、先輩方が学校生活や寮生活を優しくサポートをする体制があります。安心して入寮してください。

Q 最寄駅(JR東金線求名駅)から少し遠いようですが、バスはないのですか?

A 平日は授業開始前と4時限終了後にスクールバスを運行しています。朝に求名駅発・大学校行を2便、夕方に大学校発・求名駅行を1~2便運行しています。